

朝鮮半島における秩序変革の今後 — 政治の時代から経済の時代へ —

三村 光弘 氏

環日本海経済研究所 調査研究部主任研究員

コメンテータ 文京洙 氏 | 立命館大学 教授

2018年に入り、朝鮮半島情勢がめまぐるしく動いています。2月の平昌五輪を契機に南北の雪解けムードが急速に進み、4月27日には南北首脳会談が11年ぶりにもたれ「板門店宣言」の発表となりました。この宣言では2018年中の「終戦宣言」が公的に約束されました。続く6月12日には、史上初となる米朝首脳会談が実現し「シンガポール合意」が導かれました。さらに9月には文在寅大統領が平壤を訪問し、金正恩國務委員長とともに第5回南北首脳会談をもち、「9月平壤宣言」が採択されました。

南北の和解が進み、米朝関係が「新たな関係」に移行することが現実になりつつあります。朝鮮半島における冷戦構造が解体に向かい、東アジアの地政学的構造が根本的に変化しつつあるのが今日の姿です。

国際高麗学会日本支部では、このような重要な時期を迎えている朝鮮半島情勢をどのように捉えるべきか議論するため、特別講演会を企画いたしました。今回の特別講演会では、本学会の理事であり、環日本海経済研究所(ERINA)調査研究部主任研究員である三村光弘さんを迎え、朝鮮民主主義人民共和国の変化を中心にお話ししていただきます。本学会会員の皆様を始め、多くの方のご来場をお待ちしております。

三村 光弘 氏 | 公益財団法人 環日本海経済研究所
調査研究部 主任研究員

1969年大阪市生まれ。大阪外国語大学朝鮮語学科、大阪大学法学部、大阪大学大学院法学研究科を経て、2001年博士(法学)取得。同年4月より新潟にある環日本海経済研究所に勤務。調査研究部研究員、研究主任、調査研究部長をへて現職。専門は朝鮮法、朝鮮経済、北東アジア経済交流。



お問い合わせ

国際高麗学会日本支部

Email: isksj@isks.org

<http://www.isks.org/office/japan.html>

日時

2018年 **11月16日** ^金

開演 **18:00** / 開場 17:30

申し込み不要 参加費無料

会場

立命館大学いばらきキャンパス
B棟 4階 研究室2

大阪府茨木市岩倉町2-150



JR茨木駅から徒歩5分
阪急南茨木駅から徒歩10分